

第4回板橋区ボランティア活動推進協議会専門部会 要点記録

会 議 名	第4回板橋区ボランティア活動推進協議会専門部会
開 催 日 時	令和5年4月19日（水）午後2時から午後4まで
開 催 場 所	板橋区役所南館4階 災害対策本部室
出 席 者	<p>[委員]8人(敬称略) 長澤重隆（部会長）、松村良子、田口晋、小池睦美、矢野由加、平野江里子、林栄喜（欠席：2人）</p> <p>[オブザーバー] いたばし総合ボランティアセンター所長・副所長</p> <p>[事務局] 地域振興課長、地域振興課地域振興係職員</p>
会議の公開 (傍聴)	非公開、ただし要点記録は作成
傍聴者数	なし
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 議題 (1) 第3回専門部会の振り返り (2) 今回の検討事項について (3) 運営方法の検討について ①プラットフォームの導入について ②その他方法について</p> <p>3 閉会</p>
配 付 資 料	<p>資料④-1 第3回板橋区ボランティア活動推進協議会専門部会 要点記録（案）</p> <p>資料④-2 第4回ボランティア活動推進協議会専門部会 検討事項</p> <p>資料④-3 第3・4回ボランティア活動推進協議会専門部会 検討結果（案）</p>
部 会 長	<p>1 開会</p> <p>それでは早速、ボランティア活動推進協議会の専門部会を開催させていただきます それでは事務局の方から資料説明のほうよろしくお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>まず、本日の会議でも会議録を作成する関係から、議事の内容を録音させていただきますので、ご了承お願いいたします。なお本日、沼委員、前田委員がご都合により欠席ということで事前にご連絡をいただいております。小池委員はご連絡ないので、後程お見えになるかもしれません。あとオンライン参加平野委員が予定しておりますけれども、遅れて参加するというお話をいただいております。</p> <p>本日は委員9名のうち、5名の委員が参加されておりますので、過半数を満たしておりますので、本協議会は正式に成立しております。</p> <p>本日は3月に開催いたしました第3回専門部会に引き続きまして、本ビジョンの肝になります運営方法について検討して参ります。限られた時間の中で専門部会の意見をまとめるという必要があるため、皆様には今まで以上にお力をお借りしたいと思っておりますのでご協力をお願いいたします。</p> <p>続きましてお手元に配付しました資料の確認でございます。</p> <p>資料④-1、冒頭の部分は省略させていただきます。本専門部会の要点記録。</p>

	<p>資料④-2が、専門部会の検討事項。 資料④-3が専門部会の検討結果報告案。でございます。 以上3点机上に配付させていただいておりますが足りない資料はございませんでしょうか。大丈夫でしょうか。 それでは、長澤部会長、議事運営をよろしく願いいたします。</p>
	<p>2 議題 (1) 第3回専門部会の振り返り (2) 今回の検討事項について</p>
部会長	<p>それでは次第に沿って進めたいと思います。 次第の2番目の議題。それから、(1) 専門部会の振り返りと (2) の検討事項について、事務局からまた説明をよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>(事務局から資料④-1及び④-2について説明)</p>
部会長	<p>前回に続いてということなんで、前回議論したところを、冒頭整理していただいて今日も同じようなところで、もう一度再確認をしていく作業と、それからもう少し進んだところで、皆さんのご意見を取り上げたいと思っています。 それでは次第2の(3)のを説明、そして資料の④-3の説明もあわせてよろしく願いいたします。</p>
	<p>(3) 運営方法の検討について ①プラットフォームの導入について</p>
事務局	<p>(事務局から資料④-3について説明)</p>
部会長	<p>それでは今の説明に沿って、進めていきたいと思います。まずこの資料の④-3の説明と、前回の話のまとめをしていただきました。この中でさらに皆さんの補足意見や追加項目とか、そういうものを1人ずつお聞きしていきたいと思います。 まずプラットフォームの考え方は、資料の④-3の1ページ目で確認出来ていると思いますので、もう一度改めて確認していただきたいのと、それから2ページ目の既存事業、それから新たな視点での事業展開、特に追加項目に関する事、或いは運用によって期待される効果等についても新しく追加されております。これをもう一度目を通していただきながら、ご意見をお聞きしたいと思います。</p>
	<p>(委員意見抜粋)</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決に向けた運用の関係性ができた際、来年度また同じことをボラセンがやるのか、次の発展に向けて自主的に繋がるとか、繋がりから何か生まれてくるのか等を考えてもらいたい。 ・相談機能・コーディネート等の強化の部分で、中学校とか高校のボランティア部みたいなものを積極的に入れていくと、若い世代を巻き込んでいけるのではないかな。 ・オンラインで発信をするときに、「シェア」っていうことが何かってわからないという方がいるので、わかりやすくできると良い。 ・カタカナ用語を、日本語にする、漢字に置き換える等直せないかなと思う。 ・支え合い会議等思った以上に地域が動いている、今機能しているものがあるんだったらそれがもっと有効的に動けるために隙間を埋めるといいのではないかな。
部会長	<p>ボラセンの担当者からも、せっかくですから、ここで、関係するもしご意見があったらよろしく願いいたします。</p>

ボラセン職員	<p>(ボラセン職員意見・補足)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LINEは本当にこのSNSの中で非常に重きを置かなければいけないツールだと思っており、公式LINEというような形で、ちょっと立ち上げたいなというふうには思っています。 ・今年度からですね、運営委員の中に淑徳大学のボランティアサークルの代表の方に、メンバーに入ってくださいました。 ・今年度から加賀小学校のiCSの委員として、地域の社会資源としてボランティアセンターとしてもちょっとかかわれるような形になりました。 ・学校支援地域本部については、地域コーディネーターがいて、より学校の支援で、ボランティアの方を募ってというところなので、そこはもっと深く関わっていきたいと思っています。 ・ボランティアセンターの機能が、登録・派遣というイメージがすごく強く残っているんじゃないかというふうに思っています。 ・プラットフォームの機能の中で、いろんな人たちが繋がり合えるような、仕組みをつくっていくということも大事なのかなというふうに思いました。
部会長	<p>②その他方法について</p> <p>はい、ありがとうございました。</p> <p>事務局のほうで論点整理していただきながら、次回の協議会にまた私たちの意見として、提案していきたいと思うので、どうぞよろしくお願いします。</p> <p>残った時間を、活動拠点のあり方について今後ボランティアセンターの活動拠点のあり方、或いはその周知の方法、周知のあり方等について皆さんからまたご意見を募っていきたくと思っています。</p>
ボラセン所長	<p>(ボラセンからの補足説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧板橋第三小学校の跡地というところ、小学校の廃校になった場所を上手く生かしながら、そういったところを活用していかなければいけないかなというような運営をしています。例えば校庭だった場所を、交流広場というような形で、花壇だったところを、ボラセンミニ農園という場所に変えたりしております。 ・利用団体が多いということもあって、場所的な担保というの、やっぱり活動拠点としては必須かなというふうに思っております。 ・様々な多様な主体が立ち寄れる、生まれる拠点としてのあり方も検討が必要だと思います。
部会長	<p>活動拠点というのは、単に本部というよりも、ランチを含めたそういう機能としてのボランティアセンターの構築を目指していったらいいのではないかという話で、これに関してさらに何か再確認でもいいですし、何かご意見がさらにありましたらお聞きしたいと思います。</p>
委員	<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上板ボラセンを始めて現在まで、上板橋地区の状況が何かボラセンを置いたことによって変化が起きたのか、お聞かせ願えればと思う。
ボラセン所長	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず社会福祉協議会がボランティアセンターを運営するにあたって上板橋のサードプレイスという場所、社協の拠点をボランティアセンターの拠点という形で、始めた当初は週2日間、木曜日と日曜日に職員が常駐しておりました。 ・やはり三田線沿線でしか出会わない人たちがばかりだったんですが、東上線ユーザーにとってやはり駅から近いということもあったので、圧倒的にその東上線沿線の方が

	<p>らの認知度は上がったかなというふうに思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア保険の受け付けがですね、東上線沿線でもできるようになったっていうことも、これ実際のところは非常に、利用者さんからはすごく助かっているっていうような声を聞きます。 ・東上線に特化した情報を集めているというところですので、非常に効果はあるかなというふうに思います。
委員	<p>(委員意見抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランチの考え方がちょっと整理してもらいたい。プラットフォームやシステム導入、オンラインは結局仕組みだったり、空間だったりリアルである必要ないところがあると思う。 ・一方で、オンラインで対応できない人がいる、ボラセンで部屋を借りたい人がいるとなると、ランチのもう1個の意味として、対面で話したり、そこで実際体を動かして何かをやるっていうところの意味合いもあると思う。 ・システムが生きて、それで情報の繋がりができる、最終的には人と人が、その一つのことに関して出会った場がそれでランチになるのかなと。「情報が出会って、人と人とか出会う場」のイメージ。 ・ランチを作ったんだったらランチで対応できる人を必ず育てていただかないといけない。 ・地域コミュニティカフェ・スペースがたくさんあるので、ランチ機能を持たせたりとか、仮想空間みたいなものがあるってそこに行けるとか、そんなようなこともできれば可能なのかなと思う。 ・ランチについてはボランティアセンターのスタッフで運営していくのかどうか議論したほうがいいと思う。 ・ボランティアセンターに登録しているボランティア団体の中で、担っていただくようなNPO団体って考えられないのか。
	<p>(質問)</p> <p>今の活動拠点で、不都合・不便を感じていることがあれば教えてほしい。</p>
ボラセン所長	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不便に感じているところですね、建物が古いので、ドアの故障等で良く呼ばれます。 ・板橋区も広いので東上線の方には本当に知られてないなっていうところ。あとは、イメージが変わるように、刷新しているところもあるので、もう少しちょっとおしゃべりな場所にしたいっていう感じています。
委員	<p>(委員意見抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リアルに集まるというところの意味と意義を最後まとめる。オンライン化ともうシステム化もそれはそれでもう進めていく。 ・何の用もないけどふらっと来て、出会える場所って必要なんだと思う。
部会長	<p>それではちょっともう一つのお話に移りたいと思います。二つ目のボラセンの周知に関して何かもう少し、何かこんなこともというご意見をお願いしたいんですけど。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>(委員意見抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間が短い1分ぐらいの動画でどんどん配信してもらおう。 ・動画クラブでも作ってもらって、若い人たちにどんどん作ってもらってもいいので

ボラセン所長	<p>はないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年のモニターアンケートでは48%がボラセンを知らないという結果で、意外だったのは、52%の人が知っていること。ただ、使う・使わないは別として、災害時の必要性を踏まえるとボランティアセンターの存在は100%知っているべき。 <p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月出されている情報紙は登録している団体、ボラセンに登録している団体の方のお手元にも、行っているのか。 <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録している団体さんには特別お送りしていません。 ・ボランティアを始めよう、興味がある、何かしたいという方に見ていただいているというような形になります。
委員長	<p>(委員意見抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メール等に二次元コードをつけて、URLからホームページに繋げるといいのでは。 ・情報紙は団体が他の団体や近隣の方を意識して見てもらう効果もあるのでは。
ボラセン職員	<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東上線沿線に関しての情報紙の設置していただいている箇所は何ヶ所ぐらいあるのか。東上線沿線のその病院、学校・大学とか、その専門学校4ヶ所あるが、そういうところには置いているのか。 <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東上線には置いてないですね。大学と専門学校全てじゃないんですが、置いてもいいといったところには置いていただいております。ただ、全て網羅できていないので、そこはもう少し情報の発信のアプローチをしてもいいのかなというふうに思います。
委員長	<p>(委員意見抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関6ヶ所ありますけど、情報紙を設置するのは調剤薬局でもいいのでは。 ・あともう1点、これが（ボランティア・市民活動ガイド）できたが。猫の名前とか、その子が何か案内をしていくみたいな、展開が何かあるといい。
ボラセン副所長	<p>(ボラセン補足意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実は今の薬剤師会さんの方を通じて、薬剤師の方々にボランティアセンターのことを知っていただくということで、毎月250部薬剤師会経由で各薬局に送っていただいています。 ・猫なんですけども、今回デザインをしていただいた業者さんの中に障がいのある方がいらっしゃって、その障がいのある方のデザインを活用させていただいております。 <p>ボランティアセンターとして正式なキャラクターというわけにはまだないので、少し今後、こういったキャラクターも使いながら発信していこうというふうに考えておりました。</p>
委員長	<p>(委員意見抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボラセン知らない人、関わっていない人を重点的にターゲットにやっていく ・ターゲット別に何の媒体で周知するのかを整理しておく、中身のほうも考えやす

部 会 長	<p>くなる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年関東大震災の100周年ということで関東大震災をちょっと一つ活用して、災害関連でボランティアセンターを周知するような活動を今年やれるのではないか ・今ボラセンでやっていること等タイムリーなことを発信してもらおうと良い。 <p>それでは2回に渡った専門部会のこの報告書は、今日出た意見を追記させていただきながら、今度の第5回の協議会に報告していきたいと思いますので先ほど冒頭にありました通り、後で思いついた場合には、事務局にご連絡いただき合わせて、報告書を追記していきたいと思います。</p> <p>全体として何か、スケジュールのことに、もう一度改めて事務局の方からご説明よろしくをお願いします。</p>
事 務 局	<p>第5回協議会の開催日でございますがこちらは冒頭で申し上げた通りなのですが、5月23日火曜日の14時から、グリーンホール703会議室で開催をいたします。お忙しいと思いますが、ご参加の方をお願いしたいと思います。</p> <p>加えまして、専門部会の日程についても、ご案内させていただきたいと思います。</p> <p>第5回目、次の専門部会は6月9日金曜日10時から。第6回の専門部会は7月6日木曜日14時から。第7回専門部会は11月7日火曜日14時からということで、会場の方は決まり次第、ご連絡をさせていただきます。</p> <p>専門部会につきましても引き続きご協力をお願いしたいと思います。事務局からは以上でございます。</p>
部 会 長	<p>繰り返します。協議会第5回協議会、5月23日火曜日14時。で、私たちの部会はまず、第5回目が6月9日金曜日10時。それから6回目は7月6日木曜日の14時。7回目が11月と先になりますけど、11月7日の火曜日の14時。ということで、日程は、組みましたので、会場はまた後程またご案内申し上げます。</p> <p>はい、ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、大体時間内、終了することができました。本当にありがとうございました。2回にわたっての部会、またありがとうございました。</p> <p>次回の開催までまた元気でお過ごしください。ありがとうございました。</p>
所 管 課	区民文化部地域振興課 地域振興係 (電話 3579—2163)